

アジア太平洋GIS基盤整備に関する検討作業

実施期間 平成16年度
企画部国際交流室 南 秀和

1. はじめに

アジア太平洋地域における地理情報基盤の整備及び共有は、地球温暖化に伴う海面上昇などの地球環境問題の解明に役立つほか、防災や地球科学の発展に資することなどが期待される。本作業は、アジア太平洋地域の地理情報基盤整備の効率的な推進に資することを目的として、同地域の地理情報基盤の整備方策について調査及び検討を行った。

2. 調査及び検討内容

アジア太平洋地域の地理情報基盤に関する以下の事項について調査及び検討を行った。

(1) 国家空間データ基盤の整備状況

アジア太平洋地域を中心に各国の国家空間データ基盤について、整備状況及び関連する施策の実施状況等に関する調査を測量・地図作製機関を対象に実施した。

(2) 地域空間データ基盤の整備状況

アジア太平洋地域共通の空間データ基盤の整備状況及び関連する施策の実施状況等に関して国際機関等の取り組み等を中心に調査を行った。

(3) 整備方策の検討

上記調査結果の分析を行い、その結果を基にアジア太平洋地域の地理情報基盤整備をより効率的に推進するための方策の検討を行った。

3. 得られた成果

(1) 国家空間データ基盤の整備状況

オーストラリア、ブルネイ、中国、インド、インドネシア、イラン、韓国、マレーシア、フィリピン、ロシア、カナダ、イギリス、アメリカの各国の空間データ基盤整備の現状等について調査結果を取りまとめた。

(調査項目)

- ・機関の概要（所属省庁、組織構成、職員数等）
- ・中長期的事業戦略
- ・空間データ基盤の整備状況（紙地図含む）
- ・測地基盤整備の状況（世界測地系の導入状況）
- ・環境保全、災害に対応した地図の作製状況
- ・国際協力の状況（技術協力・援助の概要、国際機関等への参加状況等）

(2) 地域空間データ基盤の整備状況

GPSやVLBI等の最新の各種宇宙技術を利用したアジア太平洋地域測地共同観測プロジェクト等、地域の位置情報基盤整備に関する共同観測等の状況に関する調査結果が得られた。また、環アジア太平洋地域基盤データセットの仕様の詳細等、地域共通の地理情報データ構築の取り組みに関する調査結果が得られた。

(3) 整備方策の検討

上記調査結果より、アジア太平洋地域における地域空間データ基盤及び各国の国家空間データ基盤の整備の現状について分析を行い、その結果明らかになった整備に関する技術的・制度的な問題点等を踏まえて今後の同地域の地理情報基盤の効率的な整備推進のための方策を取りまとめた。

4. 結論

本作業により、アジア太平洋地域の各国及び地域全体の地理情報基盤整備に関する実態について把握することが出来た。今後は、検討された結果をもとにアジア太平洋地域の地理情報基盤の効率的な整備推進に資するため我が国のより一層の取り組みが必要であると考えられる。